

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170100459		
法人名	有限会社ライフ・シップ		
事業所名	嘉瀬紀水苑		
所在地	佐賀市嘉瀬町大字荻野698番地		
自己評価作成日	令和6年3月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市天神一丁目4番15号		
訪問調査日	令和6年3月25日	外部評価確定日	令和6年5月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様やご家族様が安心して過ごされるように支援に努めています。ご利用者様に寄り添いながら、日々一緒に楽しく過ごされています。天候の良い日には、近隣散歩に出かけ季節を感じて貰い、地域の方との挨拶や談話を楽しんでいます。外出支援では、伊勢神社参拝、桜花見、ひまわり見学、コスモス見学、森林公園散歩等、楽しめました。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

管理者が地元の方で、おしるこ会などを通して地域との交流も図られている。地域の方からも交流する機会を増やしてほしいと要望が上がるなど地域に根差した施設づくりをされている。ケアにおいては、コミュニケーションを図り入所者のペースで生活を送れるように支援されることを念頭におかれている。モニタリングに関しても毎月実施され、小さな変化に気づきケアの統一を図られている事業所である。
--

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義をふまえた理念を全職員とつくり、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念は数年前に「楽しく すこやか なごやか」へ職員全員で検討され変更されている。会議や毎朝の申し送りの際に理念が共有されているか確認する機会を設けられている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日頃より、地域の方と利用者様が挨拶を交わしたり、本を貸して頂いたり、お話を楽しまれたりされています。地域の一員として「こども110番」「第17回地域交流おしるこ会」を開催させて貰い地域の方が10名様来苑していただきました。	事業所が地域の方に向けおしるこを提供されるなど交流を図られている。また 職員が地域の清掃活動への参加や利用者の散歩の際に挨拶を交わしたり野菜を貰うこともある。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	実践を通じて積み上げた認知症の方の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて、高齢者の方々に暮らしに役立てることが無いか話し合い地域貢献に努めている。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には、利用者様や地域の民生委員様やご家族様、地域包括支援センター様、がご参加頂きご意見やアドバイス等をいただきサービス向上に活かしています。	会議では、委員の方に身体拘束や虐待についての研修を行い理解を深められている。参加できない家族には議事録を配布され周知されている。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者と日頃から連絡を取り、事業所の実情やケアサービスの取り組み等積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいます。	地域包括支援センターに空き状況を伝えるなど連携を図り運営をされている。また行政に災害時を想定して避難先を相談するなど関係性を構築されている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が勉強会や研修会等で身体拘束をしないケアを理解して、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。玄関の施錠は、夜間の戸締りのみです。外に出られた利用者様には、必ず職員と一緒に出て暫く散歩したり、お花を眺めてたりしています。	契約時に身体拘束の指針を説明し対応されている。職員には研修を行い、日々のケアでもスピーチロックを行わない意識を高めるように指導されている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員が勉強会や研修会等で高齢者虐待防止について学ぶ機会を持ち、利用者様の身体の状態を入浴時に観察して防止に努めている。また、言葉遣いにも注意しています。スピーチロックをしないように努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会等で、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、必要な方には活用されるよう支援しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者様とご家族様との契約の締結、解約又は改定等の時は、十分な説明を行い理解と納得が得られるように、また不安や疑問点を尋ねて理解と納得を頂けるように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者様やご家族様が、ご意見や要望、ご不満や苦情等を書いて頂ける雰囲気而努力しています。また、全職員が意見や要望をどうしたら反映出来るか話し合いながら努力しています。	意見箱は設置されているが、電話や面会時に意見を伺うようにされている。日頃からコミュニケーションを図り気軽に話をして頂ける関係性の構築に努められている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の申し送りに参加したり、勉強会、ミーティングの時等に職員の意見や提案を聞く機会を設けて運営に反映させている。	毎月の会議は毎朝の申し送りの際に職員と管理者が意見交換を行っている。最近ではシルバーカー歩行での転倒リスクが高まり、歩行器を購入して欲しいという意見が上がってきた。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがい等、各自が向上心を持って働いて貰えるように、職場環境・条件の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながら学ぶことを進めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みに努めています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人が困られている事、不安なこと、要望等を聞く機会を持ち、ご本人が安心を確保出来るように関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に、ご家族様等が、困っておられる事、不安なこと、要望等を聞く機会を持ち、ご家族様等の安心を確保出来るように関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時に、介護保険申請がされていない方、医療的に必要な方、施設に慣れられるか心配の方等に適した対応の方法をご説明し、支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人と一緒に過ごし喜怒哀楽を共にし、ご利用者様から色々と学ぶ機会が多く、暮らしを共に過ごし支え合う関係を築いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の訪問が有り、一緒に外出されて、お墓参り、ご主人様の所に行かれたり、自宅に行かれたり、ご本人様とご家族様の絆を大切にしながら、共にご本人様を支えて行く関係を築かれています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人がこれまでに大切にされてきた馴染みの方、知人、ご近所の方、ご姉妹様等の関係が途切れないように、支援に努めています。	面会は夕食後でも可能であり状況に合わせ臨機応変に対応される。外出や外泊も家族の対応であれば制限はない。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握して一人ひとりが孤立されないように利用者同士が関わり合い、また支え合えるように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了した後も差し入れやバールン見学で来苑されたり、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて相談や支援に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めています。全職員で情報を共有し、ご本人の意向に出来るだけ沿うように努めています。	日々のケアの中で要望を確認し、その都度職員間で話をされ対応されている。コミュニケーションが困難な方には表情や動作などを確認し思いの意向の把握に努められている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に、情報収集し生活歴や生活環境、馴染みの暮らし方、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状把握に努めています。また、全職員で共有に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	事業所用方式アセスメント表を用いて、ご本人がより良く暮らして頂けるように、課題とケアのあり方について、ご本人、ご家族、必要な関係者と話し合い、モニタリングし、それまでの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成しています。	モニタリングは毎月行い、ケアプランの更新時にカンファレンスを実施されている。また、基本情報の項目も更新され統一したケアが提供できるように工夫されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご利用者様の日々の様子やケアの実践・結果・気づきや工夫を個別記録にし、職員間で情報を共有しながら実践や、介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者様一人ひとりを支えるために、ご家族の状況、その時々生まれるニーズや要望に対して、柔軟な支援サービスの多機能化に取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご利用者一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、地域ボランティア、民生委員、消防署などの方と協働しながら、ご本人が心身の力を発揮しながら、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人及びご家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医が往診、受診されて事業所との関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援しています。	かかりつけ医の継続も可能であるが協力医療機関に変更することで月に2回の往診を受けることが可能となる。また必要時には訪問歯科を利用することもできる。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づき、身体状態、経過等を看護職員や訪問看護師等に伝えたり、相談したり、ご利用者の健康管理や医療活用の支援に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用様が入院された時は安心して治療できるように、また、出来るだけ早期に退院出来るように病院関係者との情報交換や相談に努めています。また、そうした場合に備えた連携に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご利用時の早い段階から、ご本人、ご家族等との話し合い、重度化した場合や終末期の看取り指針について事業所で出来ることと等を説明し同意を得ています。かかりつけ医と地域の関係者と共に支援に取り組んでいます。	看取り対応は可能であるが、医療行為が必要な場合には訪問看護と協力し対応することになる。看取りの実績はなく、病院を通して他の施設へ移られるケースが多い。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者様の急変や事故発生時に備えて、全職員が、応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけるように努めています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地震や火災、水害時に備えて、ご利用者様が避難できるように訓練で全職員が身に着けるように、また、地域との協力体制を得られるように努めています。遠くの避難所より近くの隣人との協力関係を築いて行けるように努めています。	消防訓練の際には 消防署や消防団の協力もあり実施されている。災害時には備蓄食も準備され隣接する管理者の自宅の2階が避難先となっている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーに配慮しながら、言葉かけや所在の把握を確認しながら安全に過ごされるように対応しています。	接遇の研修を行い入居者に尊厳ある対応ができるように日頃より心がけている。トイレ 介助の際には、周囲に配慮した取り組みも行われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中でご本人の希望や思い、自己決定が出来るように働きかけている。自分で決めたり、納得されながら過ごされている。強制や押しつけの支援とならないようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的には、一日の流れは決まっていますが、一人ひとりのペースを大切にし、体調、気分に合わせて希望に沿った支援に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい理美容は、訪問にて支援させていただきます。ご利用者様にも気に入って貰っています。お化粧や身だしなみ、おしゃれが出来るように支援しています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	楽しい食事になるように、一人ひとりの好みや形態、量等、力を活かしながら、利用者様と職員が一緒に食事、下膳、後片付け等しています。	職員がメニューを考え、買い出し、手作りの食事を利用者に提供されている。また職員も同じメニューを食べることで普段とは違うコミュニケーションのツールができています。飲み物に関しては好みに応じ選択できるようになっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者様一人ひとりの食事摂取量や栄養バランス、水分量(食事以外で一日1,000cc)が飲水されるように、形態、品を変えて提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを一人ひとりの口腔状態やご本人の力量に応じた口腔内の清潔保持に努めています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、言葉かけやトイレ誘導が必要な方等支援しています。ご本人の習慣を活かしながら、トイレでの排泄や排泄の自立に向けての支援に努めています。	排泄パターンを把握し時間帯で誘導することを基本とし自立支援に向けた取り組みを実施している。状況に応じて、ポータブルトイレを使用することもでき、個々の能力に応じたサービスを受けることが可能となっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための、飲食物の工夫や運動への働きかけ等に取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は一人ひとり、ゆっくり入って頂いています。希望やタイミングに合わせて入浴を楽しんで貰えるように安全に配慮しながら支援しています。	週に3回の入浴が基本となっており、入居者の状態や要望に応じて柔軟に対応され、浴室には手すりも多く設置され安全に入浴ができるようになっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息されたり、休憩、睡眠を取っていただいています。安心して気持ちよく眠られるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの使用されている薬の目的や副作用や用量について理解に努めて、服薬の支援と症状の変化の確認に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、好きなこと、気分転換、散歩や買い物、気晴らしの外出支援、嗜好品等の支援をしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候の良い日には、戸外に出かけ近隣散歩、苑庭花見、桜花見、ひまわり見学、コスモス見学、嘉瀬川ダム見学、森林公園散歩等に出かけて季節を感じていただいています。また、ご家族様とお寺様参り、ドライブ等に行かれています。	天候の良い日は近所を散歩するなど外出する機会を設けられている。また、車を使用し公園などにお弁当を持って外出するような機会も設けられている。	

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人で管理できる所持金でご家族様の要望に応じた支援に努めています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様や姉妹や大切な人への手紙、はがきを出されたり、また、電話を掛けたり来たりして、やり取りが出来るように支援に努めています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	幹線道路沿いのために車音、暴風音等の騒音防止で二重サッシ窓にし、ホールの天窓から優しい光を取り入れています。また、季節のポスター、大きな暦を設置し、よく見えるように工夫しています。	リビングの壁には写真や入居者の方の作品が掲示され、生花を飾るなど明るい雰囲気となっている。スプリンクラーの設置もされており防災面にも配慮されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	独りになれたり、気の合った利用者同士で、思い思いにソファや椅子で過ごされています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、ご本人やご家族様と相談しながら、馴染みの物や、仏壇、好みの物、テレビ、椅子、ご家族様の写真等を持参されています。ご本人が居心地よく過ごされるように工夫しています。	ベッド、エアコン、タンス、衣装ケースなどが設置されており、自由に持ち込むことが可能となっている。テレビや仏壇などが持ち込まれているケースもあり、その方の生活スタイルに合わせ居室を作ることができる。	

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの「出来ること」「わかること」を活かして安全かつ出来るだけ自立した生活が送れるように支援しています。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
		○	2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)		1. 大いに増えている
		○	2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない